

日本海軍 白露型駆逐艦 海風 (うみかぜ)

IJN Destroyer Umikaze

1/700 SCALE
スカイウェブシリーズ

W138

ENJOY YOUR
MODEL LIFE

ピットロード

〒213-0015
川崎市高津区梶ヶ谷5-10-3
TEL 044-865-2460

⚓ 作り始める前に

- 組み立てる前に一通り説明書を読んで下さい。
- 接着剤、塗料は別にお求め下さい。
- 接着剤、塗料を使用の際は換気を良くして下さい。
- 対象年齢は12歳以上とさせていただきます。
- 細かな部品は誤飲などの危険がありますので、幼児の手の届かない所に置いて下さい。
- とがった部品を扱う場合は、手などに刺さらないように注意して下さい。

⚓ Read before assembly

- Read the instruction carefully before.
- Glue and paint are not included.
- Use cement sparingly and ventilate room while constructing.
- Recommended for children over 12 years old.
- This kit must be kept beyond the reach of children lest small parts be swallowed.
- Be careful to pointed parts.

⚓ 組み立て図中の記号

- OP** 選びます
OPTIONAL
- RE** 切り取る
REMOVE
- PA** 塗装します
PAINT
- BE** ご注意
BE CAREFULL
- X2** 2個作る
MAKE 2pcs
- SO** 反対側も同じ
SAME OPPOSITE SIDE

白露型駆逐艦は、ロンドン軍縮条約の下に計画された初春型駆逐艦の後続艦である。初春型は初春と子日の公試運転時に、重装備と高重心による復元力不足を露呈してしまい、この結果、12隻の建造は6隻で終了した。白露型は設計を大幅に改めたが、復元性を重んじた為船体強度に問題を残しての登場となった。そこで、昭和10年に発生した第4艦隊事件の教訓を採用して後ほど船体補強工事を追加するなど完成までには混乱があった。完成した白露型の主要兵装と機関は初春型を踏襲したが、魚雷兵装は初の四連装発射管を装備し、用兵側の要望した八射線を実現した。

船体強度に関しては、完成後に船体を補強した前期艦と、それを建造時点で実施した後期艦がある。また、艦型の違いとして、前期艦6隻は艦橋が角張り、後期艦4隻は艦橋が丸くなった。

7番艦「海風」は昭和12年5月31日に改白露型の1番艦として、舞鶴工廠で竣工した。前期型との大きな相違点は艦橋前部が丸みを帯びてスマートになった点である。本艦以降に完成した「山風」「江風」「涼風」と共に第24駆逐隊を編成し、太平洋戦争に突入していった。4艦は南方部隊に所属、1942年のスラバヤ沖海戦、ミッドウェー攻略作戦に参加を皮切りに、各種護衛・輸送任務に従事したが、1944年2月1日にトラック島南方にて米潜「ガードフィッシュ」の雷撃を受け沈没し、3月31日に除籍された。

The SHIRATSUYU class destroyers were constructed after the HATSUHARU class, which were planned according to the London Naval Treaty. The HATSUHARU class was lacking in stability because of excessive armament and top-heavy, which exposed during the official trial of HATSUHARU and NENOHI.

Although 12 ships of the HATSUHARU class were planned, only 6 were constructed as a result.

The design of the SHIRATSUYU class was largely modified, but so much attention was paid to the stability that problems about strength were left in the hull design. So the construction was confused by additional reinforcement taking advantage of the lessons from the Fourth Fleet incident. Although the main armament and propulsion of the SHIRATSUYU class was succeeded from the HATSUHARU, it was first equipped with quadruple torpedo tubes and was capable of making 8 lines of torpedoes, which was desired by tacticians. Some SHIRATSUYU class ships were called early types, whose hulls were reinforced after completion, and the others were late types, whose hulls were originally strengthened. The early 6 ships had angled bridges, and the late 4 had round shaped ones.

The eighth ship UMIKAZE was completed on May 31 1937 as the first ship of modified-SHIRATSUYU class. The biggest difference from the early types was that the front end of her bridge was rounded. She and her sister ship YAMAKAZE, KAWAKAZE, and SUZUKAZE formed Destroyer Division 24 and participated in the Pacific War. The four ships experienced the Battle of Java Sea, Midway, and some escort missions. On February 1 1944, she received the torpedo attack of US submarine Guardfish and sunk in the south of Truk Island. UMIKAZE was removed from the navy list on March 31.

◆部品リスト

※下記部品のパーツで兵装強化後を再現します。

Aパーツ	15	----	30	----	Bパーツ	24	ホーサーリール(小)×2	Dパーツ	
1 船体	16	後部マスト	31	2m測距儀架台	1 旗立て×2	25	-----	1 艦底	
2 艦橋側板(右)	17	後部マスト支柱	32	-----	2 方位測定儀	26	13号電探	2 プロペラ(左)	
3 艦橋側板(左)	18	艦橋天板	33	前部煙突(右)	3 雷装積み込みダビット×3	28	94式方位盤	3 プロペラ(右)	
4	19	後部増設機銃座	34	前部煙突(左)	4 25mm連装機銃座×1	29	7.5m内火艇×2	9 ディスプレイ台A	
5 艦橋前面	20	前部魚雷格納筐	35	後部煙突(左)	5 25mm連装機銃銃身×1	30	7mカッター×2	10 ディスプレイ台B×2	
6 前部マスト	21	探照燈方位アテ台	36	後部煙突(右)	6 25mm 3連装機銃銃身×3	31	22号電探	11 シャフト×2	
7 前部増設機銃座	22	(部品は有りません)	37	後部煙突頂部	7 25mm 3連装機銃座×3	32	3m測距儀	12 ビルジキール×2	
8 後部ビーム支柱	23	-----	38	前部煙突頂部	8 爆雷装填台×2	33	25mm単装機銃×10	13 ブラケット(左)	
9 前部ビーム支柱×2	24	-----	39	蒸気捨管A	9 爆雷投射機×2	34	C型連装砲砲身×4	14 ブラケット(右)	
10 後部スキッドビーム	25	缶室給気筒	40	蒸気捨管B	10 90cm探照燈	35	C型連装砲砲塔×2	16 舵	
11 艦橋	26	前部発射管基部	41	蒸気捨管C	12 2m測距儀			デカール×1	
12 前部スキッドビーム×2	27	前部ダビット×4	42	-----	14 内火艇用ダビット×4				
13	28	艦首甲板	43	-----	19 アンカー×2				
14 前部マスト支柱	29	炊事室煙突	44	艦底板	20 4連装発射管×2				

●他のB部品は、ご自由にお使い下さい。
Use other B parts freely.

1 装備品 Equipments

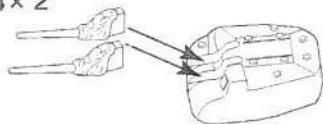
(A) 50口径三年式12.7cm連装砲C型
5-inch/50caliber Twin Gun Type C

(B) 25mm連装機銃
25mm Twin MG

(C) 25mm三連装機銃
25mm Triple MG

ディスプレイ台
Display stand

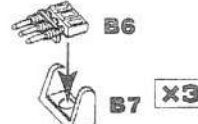
B34×2



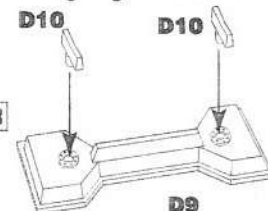
B35
×2



B4 ×1

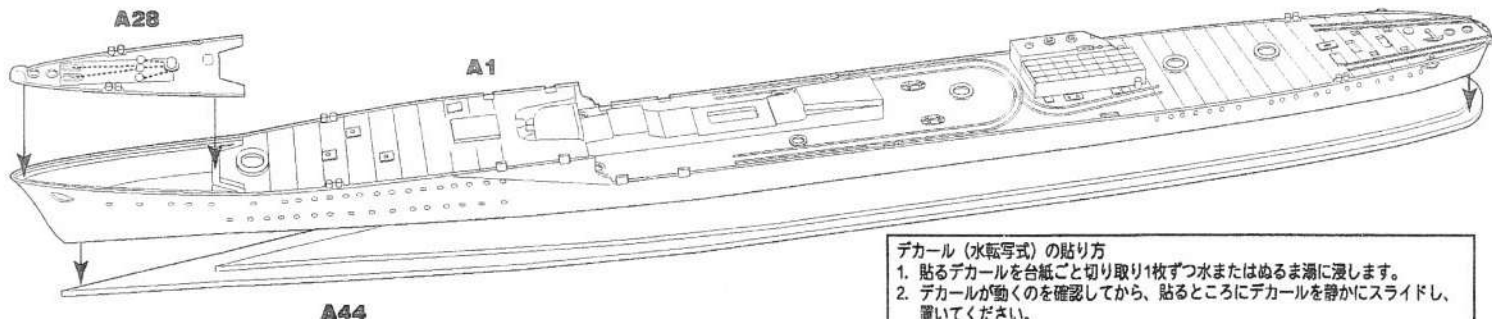


B7 ×3



2 船体 Hull

●ここでは吃水線モデルとして組み立てる為に艦底板を接着するようになっています。
艦底付きのフルハルモデルにする場合は、本書裏面の組立図4をご覧ください。
艦底部品を組み立てて船体上部と接着して下さい。

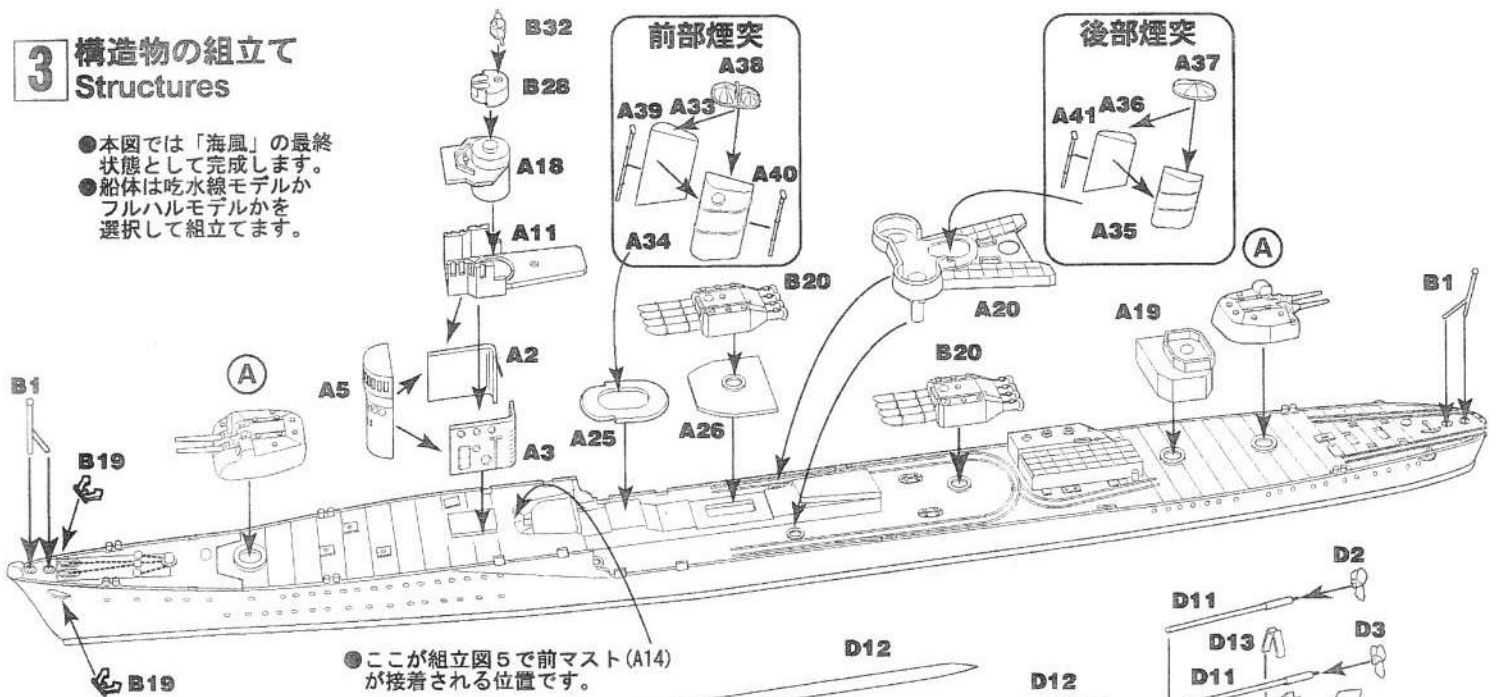


デカール (水転写式) の貼り方

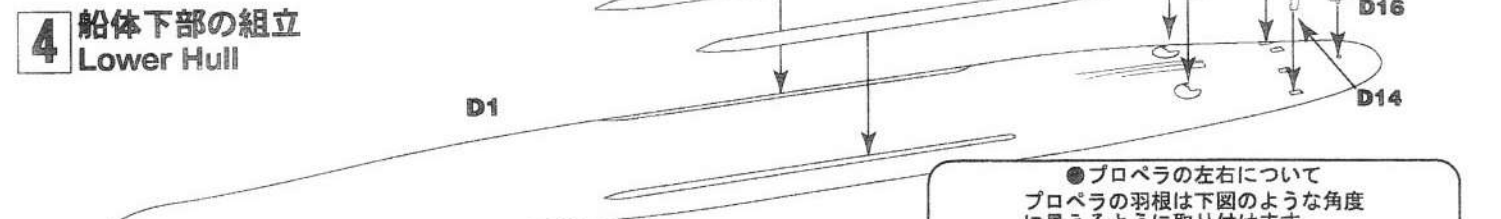
1. 貼るデカールを台紙ごと切り取り1枚ずつ水またはぬるま湯に浸します。
2. デカールが動くのを確認してから、貼るところにデカールを静かにスライドし、置いてください。
3. 筆や指先に水をつけ、デカールをぬらしながら貼りたい位置にずらしてください。
4. 布や綿棒などでデカールを押さえ、水分をとってください。

3 構造物の組立て Structures

- 本図では「海風」の最終状態として完成します。
- 船体は吃水線モデルかフルハルモデルかを選択して組立えます。



4 船体下部の組立 Lower Hull

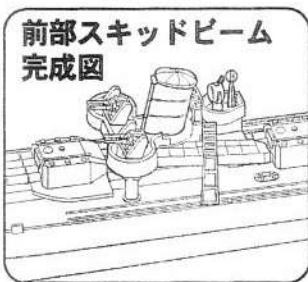
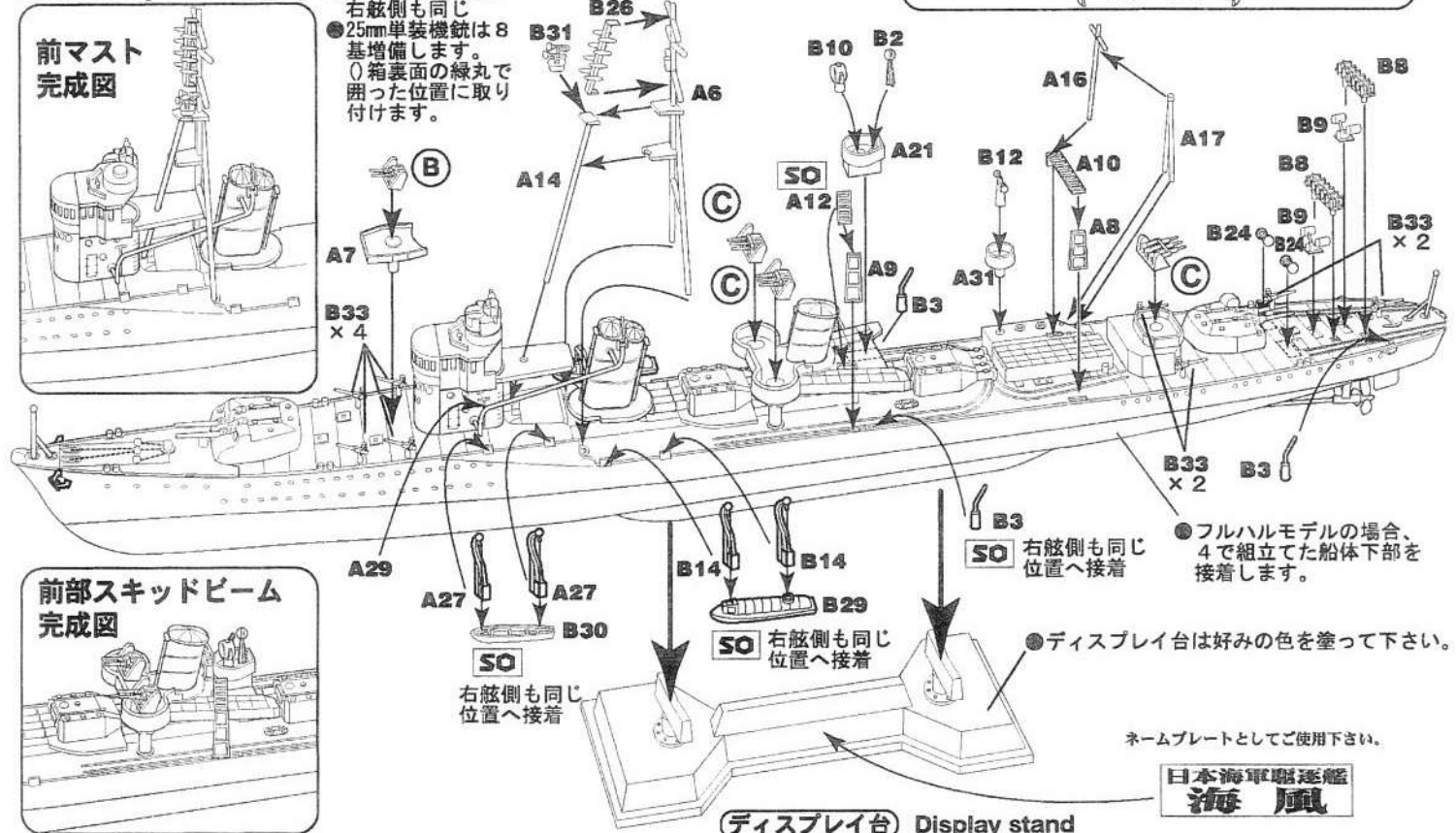


●プロペラの左右について
プロペラの羽根は下図のような角度に見るように取り付けます。
左舷側 右舷側

5 完成 Completion



- A9とA12の組立は右舷側も同じ
- 25mm単装機銃は8基増備します。○箱表面の緑丸で囲った位置に取り付けます。



"CAUTION: NOT SUITABLE FOR CHILDREN UNDER 3 YEARS. CONTAINS SMALL PARTS."
CERTAINS PRODUITS CONTIENNENT DES PIÈCES DE PETITE DIMENSION QUI NE CONVIENT PAS À UN ENFANT DE MOINS DE 3 ANS.
VERBODEN VOOR KINDEREN ONDER DE DRIE JAAREN. BEHËLT KLEINE DEELT.
PRODOTTET MON ADATTUAI KAMRONI IN ETA INFERRIORE AI 3 ANNI CONTIENI PICCOLI OGGETTI.
KAN LEVAAR OPLEVEREN VOOR KINDEREN TOT 3 JAAR. BRYAT KLEINE OUDERDELEN.
ATENCIÓN: INCONVENIENTE PARA NIÑOS MENORES DE 3 AÑOS. CONTIENE PEQUEÑAS FIGURINAS.
ATTENTION: NE PAS CONVIENTE PARA ENFANTS MOINS DE 3 ANS. CONTIEN DE PETITES FIGURINES.
ΠΡΟΣΟΧΗ: ΜΗΝ ΕΥΧΕΤΕ ΤΙΣ ΗΜΕΡΕΣ ΟΥΡΗ 3 ΕΤΩΝ. ΟΙ ΠΡΟΪΟΝΤΕΣ ΕΧΟΥΝ ΜΙΚΡΑ ΚΑΤΩ ΤΩΝ ΤΡΙΩΝ ΕΤΩΝ ΤΕΡΕΚΕΙΑ ΜΕΡΑ ΤΕΜΑΧΙΑ.

- 部品を紛失、及び破損した場合は右のカードの必要事項にもれなく記入し、必要な部品を○で囲み、郵便局の定額為替で代金をお送り下さい。弊社到着後発送致します。
- 代金の合計が1,000円以下の場合には「郵便切手」でお支払い下さい。

★部品請求カード W138 「海風」

〒 住所

氏名

電話

A 部品...1500円 B 部品...600円 デカール...300円
D 部品...1200円 送料・消費税込み

■要目(対空兵装強化時)

基準排水量	LOAD	1,685t
全長	LENGTH	110.0m
最大幅	BEAM MAX	9.9m
吃水	DRAUGHT	3.5m
主機	MACHINERY	艦本式オール・ギヤードタービン×2基
軸数	SHAFT	2-Shafts, 2軸
馬力	HORSEPOWER	42,000hp
速度	SPEED	34.0knots(ノット)
乗員	CREW	226men(名)
武装	ARMAMENT	12.7cm TWIN GUN 50口径三年式 12.7cm連装砲 ×2 25mm MG 96式25mm単装機銃 ×10 25mm TWIN MG 96式25mm連装機銃 ×1 25mm TRIPLE MG 96式25mm三連装機銃 ×3 61cm QUADRUPLE T.T 92式61cm4連装魚雷発射管 ×2 TYPE94 DEPTH-CHARGE 94式爆雷投射機 ×2 DEPTH-CHARGE 爆雷投下軌条 ×2

■COLOR GUIDE

PC11	リノリウム	L INOLEUM
C 8	シルバー	SILVER
C 9	ゴールド	GOLD
C21	ミドルストーン	MIDDLE STONE
C29	艦底色	HULL RED
C32	軍艦色(2)	DARK GRAY(2)
C33	つや消しブラック	FLAT BLACK
C45	セールカラー	SAIL COLOR
C62	つや消しホワイト	FLAT WHITE

PC:PIT-ROAD SHIPS COLOR
 ビットロード 艦船カラー
 C:GSI Creos Mr. COLOR
 GSI クレオス ミスターカラー

●数字はデカールNo.です。

●(※)戦時中の戦闘艦艇には艦名・駆逐隊番号等の表記は一切消されました。しかし、コレクションの際の区別に便利のように艦名のデカールを入れています。

●駆逐隊番号を貼る場合は、下記の表を参照に貼って下さい。

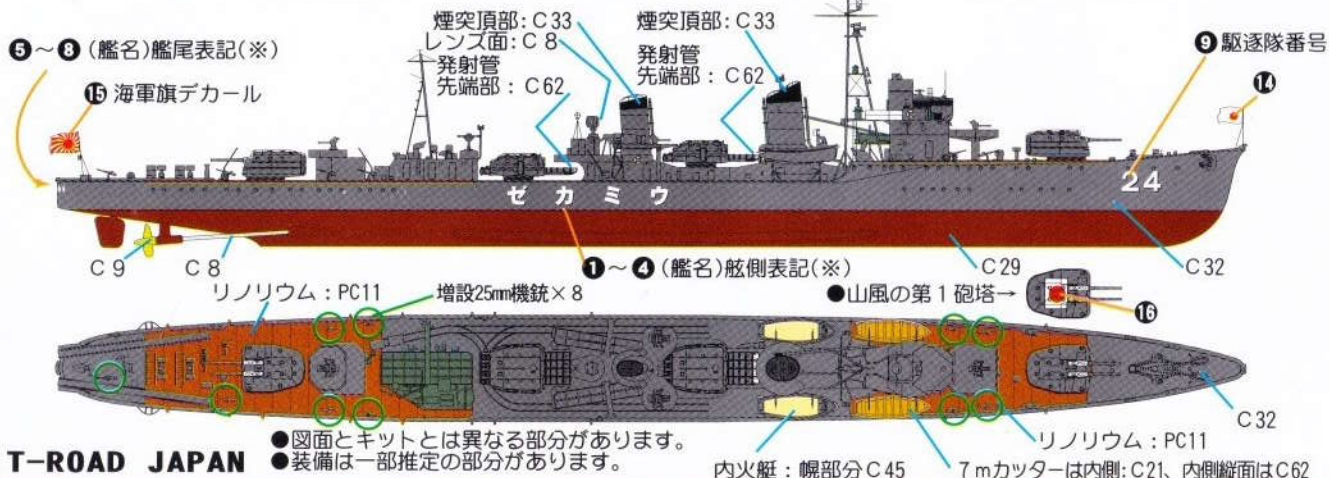
●戦時中、搭載艇は艦橋両舷の7mカッター以外は省略されていた可能性があります。

●戦時中、デカール ⑩～⑬の第2煙突用白帯は使用しません。

●PC11はビットロードカラー日本海軍艦艇色セット2(PCS21)に入っています。

■駆逐隊番号

	海風・山風・江風・涼風 各艦戦没時まで24駆逐隊
昭和13～19年	24



PIT-ROAD JAPAN

●図面とキットとは異なる部分があります。
 ●装備は一部推定の部分があります。

■IJN SHIRATSUYU CLASS LIST

●海風、山風、江風、涼風の艦名デカールが付属しています。

艦名(現代読み)	NAME	就工 COMMISSION	終戦時 AT END OF WAR
白露	しらつゆ Shiratsuyu	1936/08/20	1944/06/15戦没 SINK
時雨	しぐれ Shigure	1936/09/07	1945/01/24戦没 SINK
村雨	むらさめ Murasame	1937/01/07	1943/03/05戦没 SINK
夕立	ゆうだち Yudachi	1937/01/07	1942/11/13戦没 SINK
春雨	はるさめ Harusame	1937/08/26	1944/06/08戦没 SINK
五月雨	さみだれ Samidare	1937/01/29	1944/08/26戦没 SINK
海風	うみかぜ Umikaze	1937/05/31	1944/02/01戦没 SINK
山風	やまかぜ Yamakaze	1937/06/30	1942/06/23戦没 SINK
江風	かわかぜ Kawakaze	1937/04/30	1943/08/06戦没 SINK
涼風	すずかぜ Suzukaze	1937/08/31	1944/01/25戦没 SINK